

「全少」を日本一研究する指導者による提案

# ZENSHOに 挑戦しよう！



養正館館長・渡辺貴斗

第40回



全少向け形指導のコツ (その7)

## しゃべらない子への問いかけ

### ★貝のように口を閉ざす

私は形強化練習の時に、“子供たちが本当に話を聞いているか”、また“記憶の定着”のために、私が説明したことについて必ず質問するようにしています。中にはペラペラと饒舌にしゃべる子もいますが皆そうとは限りません。中には、何を尋ねても貝のように口を閉ざしてしまふ子もいます。こうなってしまうと、「黙ってしまうのはダメだ」とか、「赤ちゃんじゃないんだから、何かしゃべりなさい！」など、ふがいない教え子にイライラしてしまいます。

しかしながら、このようなタイプの子供は、怒鳴れば怒鳴るほど、〈絶対にしゃべらないぞ！〉と強い意志で抵抗します。このような時、クローズド・クエスチョンというテクニックを駆使して話し始める糸口がないか探ります。

### ★質問のテクニック

#### ・クローズド・クエスチョン (closed question)

クローズド・クエスチョンとは、限定質問、閉鎖的質問などと呼ばれ、深く考えなくても機械的に答えが導きだせる質問です。「はい」か「いいえ」で答えたり、「A」か「B」のどちらかを選択させたりする質問です。例えば、以下のようになります。

「あなたは、黒帯ですか？」→「はい」

「形と組手、どちらが好きですか？」→「形です」

#### ・オープン・クエスチョン (open-ended question)

クローズドに対し、オープン・クエスチョンという質問方法があり、拡大質問、開放的質問とも呼ば

れます。こちらは、相手から、幅広い答えの候補の中から深く考えさせ返答させる方法です。質問者が予想していなかったような回答も得られるので、質問者がパニックにならないよう、どんな回答にも対応できる豊富な指導経験値が必要となります。例えば、以下のようになります。

「この形の3挙動目は、どうやったら力強さが出せますか？」→「後ろ足に力を入れます」。

予想外に、「おこった顔をします」という答えが返ってくるかもしれません。そのときにその回答を「間違いです！」とか、「ふざけるな！」などと否定せず、「あれっ？」と思っても、いったん受け入れる懐の深さが必要です。受け入れてからじっくり反芻すると、私の思い込みで正しいと思っていた答えが実は間違いで、子供たちの答えが正しいことが今までに何度もありました。私が気付かなかった新しいアイデアを考えつく子供もいて、多くを子供たちから学んできました。これがオープン・クエスチョンの最大の利点のひとつです。唐突な珍回答とも思える子供たちの答えを、生かすも殺すも質問者の対応の仕方次第ということになります。

あまりお勧めできませんが、指導者が思った通りに稽古を進めたければ、クローズド・クエスチョンだけにすればよいのです。そうすれば稽古がシナリオ通りに進み、脱線することがありませんので、若い指導者にはお勧めです。その代わり、尋問しているような雰囲気になってしまいますが……。

## ★質問の活用方法

冒頭で述べました、「貝のように口を閉ざしてしまおう」子についてですが、年齢や性格も考慮せず、上級生でさえやっとなぜか答えられるようなオープン・クエスチョンで質問すれば、黙ってしまうのは当然です。以下は養正館強化練習での実際のやり取りです。

「A君、この形の3挙動目は、どうやったら力強さが出せますか？」→ オープン・クエスチョンのため、沈黙となってしまいます。

「黙っていないで答えなさい！」と言いたいところですが、〈質問の仕方が悪かったかな〉と反省し、クローズド・クエスチョンで質問しなおします。

質問1「あなたの名前は？」→「Aです」と小さい声だが即答。

質問2「あなたは、男ですか女ですか？」→「男」と恥ずかしそうに即答。余りに唐突な質問に、周りの子供たちは大喜びで騒ぎ出す（騒ぐのは男の子）。

質問3「この形の3挙動目は、手と足のどちらに力を入れますか？」→「足です」

流暢にしゃべり始めたこのあたりから、オープン・クエスチョンに切り替えていく。

質問4「もう一度聞きます。この形の3挙動目は、どうやったら力強さが出せますか？」→「後ろ足に力を入れます」

このように誘導していかないと答えられない子供が大勢いることにも驚きますが、これが現状です。指導者がクローズド・クエスチョンとオープン・クエスチョンが在るということを知っていれば、子供たちを怒鳴る必要

がありません。しゃべらない子も、このようなトレーニングを続けていけば、上級生になる頃にはしっかり返答できるようになっていきます。

## ★もしかしたら現実とは？

養正館での実際にあったやりとりをもうひとつ紹介します。

近頃、元気もやる気も無い、相手選手のB君（小5）にオープン・クエスチョンで探りを入れる。

私「もしB君が形の天才だったら、どうなりたい？」

B「僕は相手選手として相手の試合だけに出ています。本当は形をやりたいんです。もし形の天才だったら、形を極めてみたいです。でも僕はものすごく形がヘタだから、お母さんから無理に決まっているとされるので、仕方なく組手をやっているんです」

私「B君、形が好きだったんだ！B君、形の才能あるよ！“好き”と思えること自体が才能だよ！好きなら必ずうまくなっていくよ」

### PROFILE

■渡辺貴斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から父である館長から空手の手ほどきを受ける。児童心理学や成功哲学を研究して子どもたちの「心をつくる」指導法に切り替え、2013年全少5名入賞、2014年・2015年と2年連続で7名入賞、2016年5名入賞、2017年9名入賞させ、全国最多入賞数の記録更新中。道場経営でも、一道場で350名を超える大躍進を続ける。



空手道場 養正館 / 静岡県沼津市本田町 11-12



## 全少 養正館 驚異の「2年連続20名」出場決定！



全少の静岡県予選会が、4月29日開催。今年の養正館の結果は、昨年と同じ20名出場。形13名、組手7名。頑張り！全少入賞。

【左上の写真】左から、小2女子組手・工藤彩音 / 小6男子組手・芹澤理一 / 小1男子組手・井野裕斗。

【下の写真】前列左から、小2男子形・安宗春輝 / 小2男子形・三井詠一郎 / 小2男子組手・竹内相志 / 小2男子形・岡嶋玲 / 小3男子組手・下山陽平 / 小3男子形・中島暖太。

中列左から、小5女子形・望月結以 / 小4女子形・勝又蒼唯 / 小3女子形・阿部心春 / 小3男子形・伊藤泰暉 / 小3女子形・安齋みな花 / 小4男子形・公門里孔。

後列左から、小6男子組手・中原健太 / 小4女子組手・竹内凜 / 小6女子形・勝又美音 / 小5男子形・伊藤耀聖 / 小4男子形・松本颯哉。